

# 製本のススメ

Vol. 203

5月あたりから業界的には品薄な気配の季節になりますね。こんな時期には社内のレベルアップ講習で、さらい込み丁合や刷毛での糊入れ講習を行っています。時代にそぐわない感もありますが、基本があるのと無いのとでは大違いですね。皆 汗かきながら必死に練習をしています。(先生が厳しいから)

今回は「**ベタの印刷では ノドに白を付ける**」のお話です

印刷の基本なのでは？と思いますが 意外と皆さんご存じ無く 特に軽印刷として発展してきた多摩地区では 認知度が低いようです。実は印刷インクと製本の糊(ホットメルト)は あまり相性が良くありません。その為にベタの印刷をすると ノド元の接着力が弱まり、接着しにくい場合が有ります。その結果 冊子が壊れてしまい大惨事につながる可能性があります。

基本的に本文をフラットに開きたい場合を除き 並製本では「ノド側は3ミリ程度隠れてしまう」ので、この**隠れる部分だけ印刷をしない**事が好ましく **これをノドに白を付ける**と言います。



決してノド側に白いインクで印刷するわけではありませんので 勘違いの無いようにしましょう。また無線綴りのみならず糸綴り(背綴り)の場合でも同じです。**糸綴り仕様の上製本という場合には 必須条件となります**ので 注意して下さい。

最近では少部数でオンデマンド出力も多くなりましたが 決して例外ではありません。

**「データ支給だから」と言い訳は出来ない**と思ってください。壊れたら印刷会社と製本会社の責任なのです。データが来た時点で必ず修正をお願いしてください。データを作る人がプロばかりではありませんので、多少の指導はぜひお願いしたいものです。



## Teabreak

仏法の中に「三元節」があります。1月15日の上元・7月15日の中元・10月15日の「下元」で 中元には寺院で大規模な盂蘭盆会(ウラボソエ)という仏事が行われ これが日本に伝わり現在のお盆行事になりました。夏に仕事関係などへの贈答は、明治30年代ころデパートが売り上げアップに仕掛けた戦略だったそうです。

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本